

OTM 情報教育通信

令和 6 年度 第 6 号

令和 7 年 2 月 2 7 日 (木) 発行

- ・ 注意点 1 知らない人に自分の顔写真を送らない
- ・ 注意点 2 他人のプライバシーを侵害しない
- ・ 注意点 3 誹謗中傷に加担しない
- ・ 注意点 4 情報を鵜呑みにしない
- ・ 注意点 5 見ず知らずの人に会わない
- ・ 注意点 6 怪しいURLはクリックしない
- ・ **注意点 7 他人の反応に依存しない**

注意点 7 他人の反応に依存しない

第7の注意点として、他人からの反応に依存しないように留意しましょう。SNSでは、コメントや「いいね」などのコミュニケーション機能を通して、他人と交流できます。

ただ、相手から必ずしもポジティブな反応がかえってくるとは限りません。場合によっては、心なき言葉を浴びせられたり、だれからも返信がなかったりすることも日常茶飯事です。

有名人でもない限り、たくさんの人たちから日常生活に関して興味を持たれることはほとんどないと言ってよいと思います。そのため、自分が投稿した内容に対する他人の評価に振り回されると、自信を喪失してしまうおそれがあるので注意してください。

なお、SNSをやらないというのも選択肢のひとつです。

令和6年度も残り一か月となりました。登校日は2週間程度しかありません。少ない登校日ですが、卒業式、学年末考査と大事な行事が詰まった一か月です。また、3年生と会える日も残り2日しかありません。先輩からアドバイスをもらい、新年度を迎えましょう。

SNSに関するニュース

2月24日、関東の中高生たちがスマホの利用について話し合う「関東スマホサミット」というものが開催されたそうです。

テーマの1つに、オーストラリアで可決された子どものSNSの利用を禁止する法案について。子どもたちが今思うこととは。

というもので、千葉県のある中学校の生徒たちが話し合っているスマホ利用についての一部です。

中学生：「ぶっちゃけ…10時間、先週でいくと…この日は休日なので10時間。月曜日は学校行って3時間。火曜日は休日、この日も10時間くらい」

「YouTubeとか見ると、次の動画が流れてくるから見ちゃったり。やめにくいというのがあります」

「心を落ち着かせるためにスマホを触るということは結構あります」

関東圏内の中高生を対象に行われた調査によると、およそ**4人に1人が依存の傾向にある**という結果が出ています。みたいですが、もっと多いような気がしませんか？

皆さんはどのくらいスマホを利用しているか考えてみてください。

SNSが悪いわけではありません、何事もバランスが必要です。過度な使いすぎが悪いだけです。使いすぎるとスマホ利用禁止になってしまいますよ。気を付けましょう!!